

令和7年度  
事業計画及び収支予算

一般財団法人  
長岡花火財団

# —目 次—

1. 令和7年度事業計画 2

2. 令和7年度収支予算 8

# 令和7年度 事業計画

一般財団法人長岡花火財団

# 令和7年度 事業計画

一般財団法人 長岡花火財団

2024長岡まつり大花火大会は、金曜日・土曜日の週末開催となったが、安全対策の徹底を図り、多くのお客様を無事故でお迎えすることができた。 202

5長岡まつり大花火大会においても、引き続き土曜日・日曜日の週末開催となることから、昨年と同様に多くの来場が見込まれる。加えて、30度を優に超える猛暑となることも見込まれることから、熱中症対策はもとより、来場者が余裕を持って会場にお越しいただけるように開催したいと考えている。

今年は、戦後80年の節目の年でもあることから、戦災・震災からの復興・慰霊のために打ち上げる長岡花火本来の意味を意識し、各事業を推進させる。

## 【事業の4本柱】

- 週末開催で増えるお客様への安全性と満足度の向上  
～絶対無事故・お客様目線での花火大会の企画・運営～
- 長岡の誇りを伝える活動の展開
- 長岡花火ブランドの全国・世界発信
- 組織力の強化

## ○ 週末開催で増えるお客様への安全性と満足度の向上 ～絶対無事故・お客様目線での花火大会の企画・運営～

「戦災・震災からの復興・慰霊の想いを込めた花火大会の運営」「お客様の安全を第一とした絶対無事故・来場者目線での花火大会の運営」を目指し、長岡まつり大花火大会を実施していく。

### (1) 安全対策の徹底

- 雑踏事故防止を徹底するために、引き続き会場内全席を有料観覧席とし、不特定多数の来場者を抑制する。また、席種や席配置などに応じて入退場時間を変えるなどの分散化も引き続き実施する。
- 雑踏事故の要因となる「チケットを持たない」方の来場の抑制や、分散入場について、YouTubeなどのWeb等による周知を行うことで、関心のある対象者に対して必要な情報を効果的に発信する。
- 警備員、案内誘導員（市職員）、アルバイトの役割と配置を見直し、より適切で効果的な来場者の誘導、雑踏事故防止を図る。
- 昨年、来場者の滞留が生じた左岸大手大橋下流の北エリア席の一部を「てくてく前ブロック指定席」に変更し、雑踏軽減を図る。【新規】

## (2) 交通対策の推進

- 「公共交通機関での来場」を前面に打ち出しながらも、増加する自家用車での来場者に対し「長岡花火駐車場シェアプロジェクト」を継続し、駐車場の拡大、公共交通の利用促進の両輪で交通対策の強化を図る。
- 先着による駐車場を廃止し、全ての公式駐車場を有料の抽選制予約駐車場とすることで路上駐車が発生を防ぎ、近隣住民に迷惑をかけない大会運営を目指す。【新規】
- 警察や各交通関係機関と綿密な連携を図り、迷惑駐車や花火大会前後の交通渋滞に対する軽減策を講じる。
- 当日の交通情報が来訪者に正確に伝わるよう、長岡花火アプリの改修や、これまで以上に積極的な広報活動を展開する。

## (3) お客様目線での花火大会の運営、おもてなしの向上

- 左岸会場の陸上競技場内に、障がい者用の車イス席を新設する。【新規】
- 来場者の混雑緩和と、満足度向上を目指し、陸上競技場内のフィールド席を指定席となるイス席に変更する。【新規】
- 熱中症対策として効果のあったミストファンの継続設置のほか、よりわかりやすい案内誘導看板の設置や、車道まで膨れた来場者をコントロールするために安全柵の設置を行う。
- 右岸会場の観覧会場内の通路幅（1.2m）の見直しを行い、ベンチ式マス席を増設する。【新規】
- 長岡まつりを応援してくださる方（現金協賛等）について、返礼品の基準や商品の見直しを行い、満足度向上を図る。
- 長岡花火アプリを活用し、花火大会に関する事前、当日の情報発信と、利用者データによる花火大会来場者の年齢、居住地等の分析を行い、来場者が求める情報をフィードバックしていく。

## (4) チケット販売（転売防止、インバウンド対応）

- 長岡まつり大花火大会の有料席の販売について、受付、抽選、当落通知、入金確認、チケットの送付等の業務をノウハウのある専門業者に委託する。
- チケットは記名式とし、転売防止を促進する。【新規】
- チケット販売を行うインバウンド窓口の開設、WEBサイトの運営、当日の案内、入金確認等の業務を専門業者に委託する。
- 公式再販売（リセール）の対応期間や方法の見直しを行い、チケット購入後に来場できなくなった方の救済を図り、転売防止の促進にもつなげる。

## (5) 長岡まつり大花火大会（8/2～8/3）の花火の打ち上げ

- 8月2日及び8月3日の花火大会での花火の打ち上げについて、大型花火は昨年同様となる各日39台を目途に、プログラム編成を行う。
- 名物の一つである「匠の花火」を著名な花火製造会社に募集し、打ち上げる。
- 本年度も長生橋の工事の関係から、長生橋のナイアガラは実施しない。

## ○ 長岡の誇りを伝える活動の展開

長岡まつり大花火大会を主軸としながらも、2025年は戦後80年という節目の年であることから、「長岡花火」の意義を伝える事業を花火の打ち上げはもちろん、各種関係団体と連携しながら小中学校や企業などにも積極的に発信していく。

### (1) 関係機関と連携した長岡花火の発信

- 2025年は戦後80年となることから、長岡市を中心に関係機関と連携し、戦災復興祭から続く「長岡花火」の意義を発信していく。【新規】
- NPO ネットワーク・フェニックスと連携し、フェニックス観覧席の運営、募金活動などを行う中で、長岡花火に率先して協力してもらえるボランティアの育成を図る。
- 長岡花火伝承会と連携して、企業や団体などに対しても講演、講義などを積極的に実施する。
- 「道の駅ながおか花火館」のドームシアターで放映する映像の更新をはじめ、魅力ある情報発信拠点であり続けられるよう、長岡市及び指定管理者と連携し取り組む。また、アオーレ長岡のシアターとも連携し、年間を通じた長岡花火の魅力・誇りを伝える拠点として活用する。
- JC や NPO ネットワーク・フェニックス等と市内小中学校への長岡花火に関する課外授業等の実施や、普及啓発活動に必要な花火動画の撮影、フェニックス花火の募金業務（チラシ、ポスター、お礼はがき等の作成）を行う。

## ○ 長岡花火ブランドの全国・世界発信

地元ケーブルテレビや、YouTube を使って長岡まつり大花火大会のライブ配信を行い、会場にお越しできなかった方も花火大会を感じることができる環境を整える。また年間を通じた「長岡花火」の打ち上げを行うことで、長岡花火の意義の発信、ブランド力の向上、さらなる長岡花火ファンの獲得を図る。

### (1) 「長岡花火」の打ち上げによる発信

- 長岡まつり大花火大会だけでなく、年間を通じた花火の打ち上げを行い、長岡花火のプロモーションを推進する。

	名称	日時	場所
春	ながおか米百俵フェス	5/24（土）～5/25（日）	国営越後丘陵公園 ※ローズは支援事業
	ローズファンタジー	6/14（土）予定	
夏	長岡まつり大花火大会	8/2（土）～8/3（日）	信濃川河川敷
秋	新たなファンタジー事業の実施	10/25（土）予定	国営越後丘陵公園
冬	新たな「雪花火」の打ち上げ	2/21（土）予定	未定

## (2) 長岡市と連携した平和交流と「長岡花火」

- 長岡市の姉妹都市ホノルルで開催されるホノルルフェスティバルの最終日において長岡花火の打ち上げを行う。※今期は第30回目。  
日時：令和8年3月中旬 会場：ホノルル市ワイキキビーチ

## (3) 知的財産の有効活用

- 当財団所有の商標を有効活用し、長岡花火ブランドの知名度向上を図る。  
(民間事業者の商品開発への協力、長岡花火公式グッズの製作など)
- 商標の意義を広める活動を推進し、地域全体で長岡花火ブランドを守り、高める気運を醸成する。

## (4) 持続可能な花火大会運営への取組み

- 煙やゴミの少ない花火玉や環境に配慮した花火玉の開発・研究に取り組む。

## ○ 組織力の強化

刻々と変化する社会情勢、お客様のニーズ等に対応しながら、経営基盤の強化、リスク対応、人材育成の3つの力を強化し、適切に法人を運営していく。

### (1) 長岡花火応援企業・団体との連携強化

- 長岡花火オフィシャルパートナー企業などとの連携強化により、財団の運営体制の強化を図るとともに、日々の企業活動でも長岡花火を応援していただくことで、地域全体で長岡花火を盛り立ててもらおう機運を醸成する。

### (2) 災害等のリスクへの対応

- 風水害等の不測の事態に備え「災害等対策基金」への積み立てを行う。

### (3) 保険への加入（事故リスク対応）

- 大花火大会の準備期間を対象とした損害賠償保険 **【新規】**
- 大規模花火大会に対応した損害賠償保険
- 大花火大会の中止・延期に備えた興業中止保険
- 役員賠償責任保険団体制度
- 煙火消費が原因による人的・物的損害に対応する煙火消費保険
- 花火大会従事スタッフ及び清掃ボランティア対象の傷害保険

### (4) 企業と連携した新たな人材確保

- 地域活性化企業人制度を活用し、一般企業から専門知識を持つ人材の協力をいただく形で組織強化を図る。 **【新規】**

### (5) 事務所拠点の強化

- 事務所拠点の将来的な強化を見据え、増えつつある資材などを格納する倉庫を借用し、多様化するニーズに対応できる体制を整える。

- 花火大会開催にあたり、チケット、安全対策、会場設営、交通事業所など多くの事業所と事務所内外での打合せが増えていることから、業務に必要なパソコン等をリースする。【新規】
- 多くの問合せに対応するため、職員の各種ハラスメント研修の実施や、ナンバーディスプレイなどの機器を整備する。【新規】



## 収支予算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 19,000 ]	[ 18,000 ]	[ 1,000 ]
基本財産受取利息	19,000	18,000	1,000
特定資産運用益	[ 20,000 ]	[ 1,000 ]	[ 19,000 ]
特定資産受取利息	20,000	1,000	19,000
事業収益	[ 1,417,068,000 ]	[ 1,333,612,000 ]	[ 83,456,000 ]
観覧席販売収益	1,248,134,000	1,271,568,000	△ 23,434,000
駐車場協力金収益	146,008,000	48,882,000	97,126,000
各種販売収益	7,905,000	8,468,000	△ 563,000
各種賦課金収益	21,000	20,000	1,000
業務委託料収益	15,000,000	4,674,000	10,326,000
受取補助金等	[ 75,820,000 ]	[ 70,672,000 ]	[ 5,148,000 ]
受取長岡市派遣職員人件費補助金	75,465,000	70,672,000	4,793,000
その他補助金	355,000	0	355,000
受取寄付金	[ 2,460,000 ]	[ 1,500,000 ]	[ 960,000 ]
受取寄付金	2,460,000	1,500,000	960,000
受取協賛金	[ 338,384,000 ]	[ 360,944,000 ]	[ △ 22,560,000 ]
受取現金協賛金	61,621,000	81,000,000	△ 19,379,000
受取広告協賛金	4,200,000	3,300,000	900,000
受取花火協賛金	243,450,000	244,794,000	△ 1,344,000
受取フェニックス花火協賛金	22,153,000	25,000,000	△ 2,847,000
受取その他協賛金	6,960,000	6,850,000	110,000
雑収益	[ 475,000 ]	[ 485,000 ]	[ △ 10,000 ]
受取利息	22,000	2,000	20,000
雑収益	453,000	483,000	△ 30,000
経常収益計	1,834,246,000	1,767,232,000	67,014,000
(2) 経常費用			
大会運営事業費	[ 1,501,750,000 ]	[ 1,329,166,000 ]	[ 172,584,000 ]
花火打上事業費	293,326,000	297,271,000	△ 3,945,000
会場設営事業費	452,005,000	448,854,000	3,151,000
安全対策事業費	242,122,000	219,615,000	22,507,000
交通対策事業費	217,037,000	124,071,000	92,966,000
観覧席販売事業費	214,557,000	201,758,000	12,799,000
寄付懇請事業費	26,330,000	12,210,000	14,120,000
受入体制強化事業費	56,373,000	25,387,000	30,986,000
普及啓発事業費	[ 15,098,000 ]	[ 14,284,000 ]	[ 814,000 ]
普及啓発イベント事業費	5,000,000	5,000,000	0
伝承活動事業費	10,098,000	9,284,000	814,000
ブランド発信事業費	[ 124,919,000 ]	[ 90,339,000 ]	[ 34,580,000 ]
情報発信事業費	26,905,000	36,607,000	△ 9,702,000
海外発信事業費	34,910,000	10,640,000	24,270,000
情報発信拠点事業費	19,626,000	17,475,000	2,151,000
長岡花火打上プロモーション事業費	43,478,000	25,617,000	17,861,000
その他プロモーション事業費	[ 18,978,000 ]	[ 33,454,000 ]	[ △ 14,476,000 ]
その他プロモーション事業費	18,978,000	33,454,000	△ 14,476,000
管理費	[ 170,478,000 ]	[ 296,259,000 ]	[ △ 125,781,000 ]
人件費	96,094,000	91,255,000	4,839,000
施設費	18,907,000	18,731,000	176,000
その他管理費	55,477,000	186,273,000	△ 130,796,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
経常費用計	1,831,223,000	1,763,502,000	67,721,000
評価損益等調整前当期経常増減額	3,023,000	3,730,000	△ 707,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,023,000	3,730,000	△ 707,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,023,000	3,730,000	△ 707,000
一般正味財産期首残高	362,163,543	192,163,543	170,000,000
一般正味財産期末残高	365,186,543	195,893,543	169,293,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	35,000,000	35,000,000	0
指定正味財産期末残高	35,000,000	35,000,000	0
III 正味財産期末残高	400,186,543	230,893,543	169,293,000